

8 報告

(2) 手賀庚申塔保存修理工事について

ア 経過

- R04.08 手賀区庚申講中から、手賀庚申塔修理工事の打診→現地確認
- R04.10 庚申講中、工事業者、藤井委員と工法について打合せ
- R05.01 庚申講中より交付申請→交付決定→工事着手
- R05.03 工事完了

イ 工事方法について

(ア) 樹木剪定

- a 石造物搬出の支障となる樹木の伐採及び枝・根の剪定を行う
- b 石造物後ろの支障木を伐採(ムクノキ 1 本)
- c 庚申塔群上に延びる枯れ枝の剪定(スダジイ 2 本)
- d 基礎コンクリート打設の支障となる樹木の伐採剪定及び根の剪定(ヒサカキ他)
- e 樹木の根の剪定後は切断面の養生を行う

(イ) 石材工事

- a 庚申塔の台石と上部の石を接着している目地を除去
台石と上部の石を個別にクレーンで吊り搬出後、トラックで作業所まで運搬
- b 破損した礎石は撤去し、現地に仮置する
- c 台石と上部の石の接合部をグラインダーで平滑にし、ドリルで穴を空ける
- d 打設した基礎コンクリートの上に庚申塔群をクレーンで吊り移設する
- e 台石は下にモルタルを入れ、水平を調整する
- f 約 20cm のピンを庚申塔内部に打ちモルタルで固定し、上下の石を繋ぐ

(ウ) 基礎コンクリート工事、土工事

- a 庚申塔群の手前にある平場を重機で約 50cm 掘削する
- b 基礎コンクリート(長さ 10m×幅 1.5m×厚さ 0.3m)を打設する。
- c 庚申塔群を移設した後、基礎コンクリートが見えないよう掘削土で埋め戻す

ウ 藤井委員からのご意見

(ア) 石工事について

上部中央が穿孔された台石 1 点について、上部の石とピンでつなぐ際に、穴にモルタルを充填し固定する案が業者から提示された。

しかし、埋納物を入れる目的で穿孔された可能性があることから、資料保存のためモルタルと石の表面を接着しないように施工することが望ましいとご意見をいただいた。結果、穴の中に緩衝材で枠を作り、モルタルを充填する工法がとら

れた。

(イ) 基礎工事について

埋め戻しの際，ヒサカキが枯れないよう，樹木の切断面に土を被せず埋め戻しを行うことについてご意見をいただいた。結果，樹木の切断面に土が被らないよう埋戻しを行った。

工事写真



工事前全景



樹木・根剪定作業後状況



庚申塔搬出作業



庚申塔搬出作業



土手掘削作業



土手掘削作業後全景



基礎配筋作業



基礎コンクリート打設



石材加工作業



庚申塔搬入作業



庚申塔搬入作業後状況



基礎埋め戻し作業



工事完了後全景（東から）



工事完了後全景（南東から）



工事完了後全景（北から）